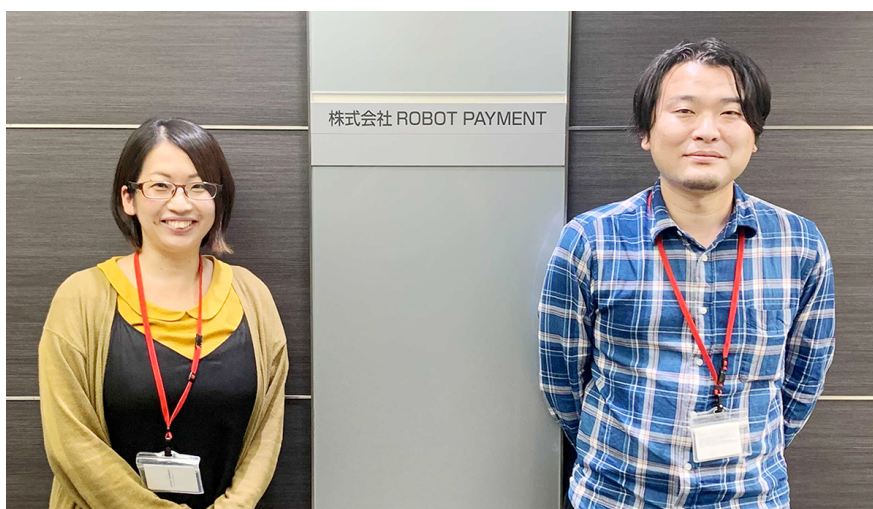


2021年10月19日

ROBOT PAYMENT が「Fleekform」を採用 正確な情報を見積書へ自動反映、業務のシステム化で社内の意識改革も実現

株式会社 Fleekdrive が提供するクラウド帳票サービス「Fleekform（フリークフォーム）」は、インターネット決済代行サービスの先駆企業であり、2021年9月28日に東京証券取引所マザーズ市場に上場した株式会社 ROBOT PAYMENT（以下、ROBOT PAYMENT）に採用されています。Salesforce を軸とした業務のシステム化で、顧客満足度の向上だけでなく社内の意識改革にも貢献しています。



■ ROBOT PAYMENT について

ROBOT PAYMENT は、「お金をつなぐクラウドで世の中を笑顔に」というビジョンの下、企業のお金周りの課題を解決するサービスを開発・提供しています。2000年の設立当初から手掛ける「インターネット決済代行サービス」（ペイメント事業）と、請求管理業務を効率化・自動化に貢献するクラウドサービス「請求管理ロボ」（フィナンシャルクラウド事業）を柱とし、業績を伸ばしています。

ROBOT PAYMENT ホームページ： [: https://www.robotpayment.co.jp/](https://www.robotpayment.co.jp/)

■ 事業における課題

ROBOT PAYMENT では、見積書は商談業務担当が作成していましたが、Salesforce 内で管理されている情報を手入力していたため、入力ミスが頻発していました。また複数のプランやオプションがあるため、情報の組み合わせは膨大となり、手入力に限界を感じていました。営業活動にも影響を及ぼすことから、見積書発行に関して改善検討を進めていたところ、Salesforce と連携し簡単に帳票が出力できる Fleekform を知り、採用に至りました。

<導入前の課題>

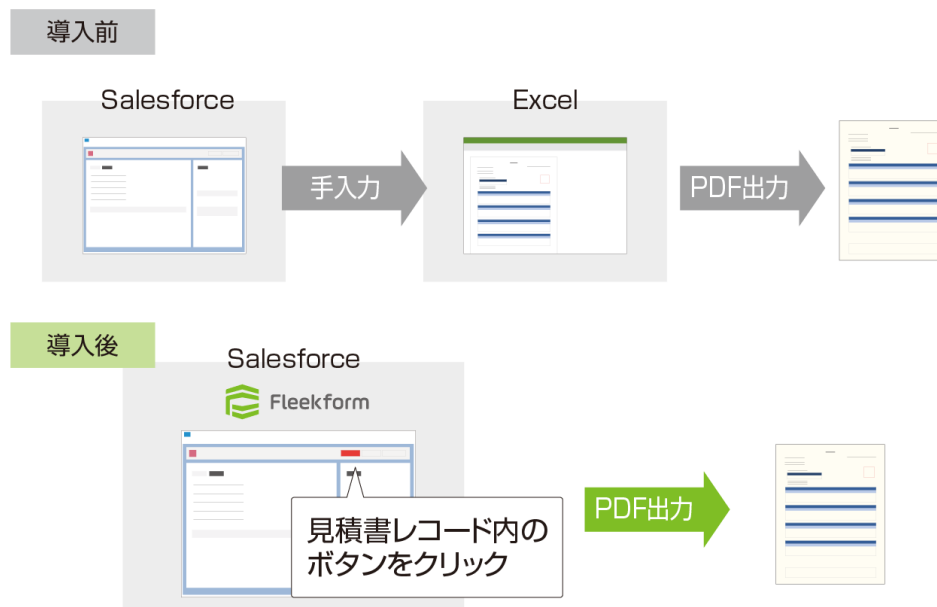
- ・ Excel のフォーマットに初期費用や月額プラン、超過費用など Salesforce 内で管理されている情報を手入力して転記していたため、入力ミスが頻発していた
- ・ 見積書の上長確認など時間がかかり、お客様の要望にリアルタイムに応えることができなかった

■ 導入効果

Fleekform 導入による改善の結果、以下のような効果が表れ、業務効率化につながりました。

- ・Salesforce に登録された情報を Excel に転記することなく、1 クリックで見積書の出力が可能になった
- ・見積書の提出が格段に早くなり、より活発な営業活動に寄与した

- Fleekform 導入により、Excel への手入力が不要に



ROBOT PAYMENT 導入事例の詳細：

<https://www.fleekform.com/case/robotpayment/>

■ 「Fleekform」とは

「Fleekform」は、クラウド上で帳票のデザイン、設定、印刷、ファイル出力・保管まで一気通貫で行うことができる、クラウド帳票サービスです。帳票の開発や修正に必要な時間やコストを低減します。

「Fleekform」の詳細：<https://www.fleekform.com/>

【株式会社 Fleekdrive 会社概要】

会社名 : 株式会社 Fleekdrive
所在地 : 〒108-0022 東京都港区海岸 3-9-15 LOOP-X 6F
代表者 : 代表取締役会長 長尾 章
取締役社長 CEO 上家 富隆
設立 : 2019年5月7日
事業内容 : クラウドサービスの開発・販売・サポート
ホームページ : <https://www.fleekdrive.co.jp/>

【Fleekform に関するお問い合わせ先】

株式会社 Fleekdrive 営業部
TEL : 03-6722-5015 FAX : 03-6722-5025
E-mail : sales@fleekdrive.com

※現在リモートワーク実施中につき、メールにてお問い合わせをお願いします。

本リリースに関するお問い合わせ先

株式会社 Fleekdrive マーケティング部

TEL: 03-6722-5015

FAX: 03-6722-5025

E-mail: marketing@fleekdrive.com